

第1回 食育推進検討部会 会議録	
日 時	令和5年6月21日（水）午後7時～9時
開催場所	市庁舎18階みなと4・5会議室
出席者	食育推進検討部会委員 12人（別添資料1）
欠席者	植木委員、君塚委員、後藤委員
開催形態	公開（傍聴者0人）
議 題	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 委員紹介及び部会長選出</p> <p>4 議事</p> <p>（1）第3期横浜市食育推進計画素案（案）について</p> <p>（2）第3期健康横浜21（素案）パブリックコメント用リーフレットについて</p> <p>5 報告</p> <p>（1）令和5年度 第1回 食環境整備検討会について</p> <p>（2）モデル事業の進捗状況について</p> <p>6 その他</p> <p>今後のスケジュールについて</p>
1 開 会	
2 あいさつ	
3 委員紹介 及び部会長選 出	<p>（事務局）</p> <p>委員紹介（資料1）</p> <p>今回は新たな任期での1回目の会議のため、改めて部会長を選出したい。「食育推進検討部会設置要綱」（資料2）に基づき、互選にて部会長の選出をお願いしたい。</p> <p>（岩本委員）</p> <p>金子委員をお願いしたい。</p> <p>（異議なし、金子（佳）委員 了承）</p> <p>（事務局）</p> <p>それでは、金子（佳）委員に部会長をお願いする。これからの議事の進行をお願いしたい。</p> <p>（金子部会長）</p> <p>推薦いただいたので、部会長を務めたい。議事に入る前に、事務局から資料の確認をお願いする。</p> <p>（事務局）</p> <p>資料説明（資料1～7）</p>
4 議 事	<p>（1）第3期横浜市食育推進計画素案（案）について</p> <p>（金子部会長）</p> <p>それでは、議事に進みたい。事務局から資料の説明をお願いしたい。</p>

(事務局)

資料説明 (資料 3-1、3-2)

(金子部会長)

説明のあった内容について、委員からの御質問、御意見をお願いしたい。

(望月 (悟) 委員)

資料 3-2 の「項目 6」の御意見について、保育園「等」となっている部分だが、歯科医師として一番気にしていることとして、口腔発達に一番重要な時期によく噛むことをせず、やわらかいもの、食べやすいものだけを食べていて、口腔発達不全症に陥っていることが多くある。乳幼児期は口の中の環境を習得する時期であるため、保育園が重要な時期になっている。もちろん中学、高校生への指導も大切だが、乳幼児期の部分は重点的にやっていくべきことと考えている。

(長島委員)

保育園では個々の園児の状況を踏まえた対応をしており、保育園に行っている子はその機会があるが、園によって状況は異なっているとも聞いている。幼稚園なども含めた、子どもに関わる人に対して知識の伝達や講習が必要ではないか。そういった取組が、中高生へも影響していくと思う。

(大久保委員)

素案には、基本的には今まで議論してきたことが盛り込まれている。SDGs の記載が少ないが、とても重要なことなので、もう少し拡大して扱われるべきではないか。栄養過多、偏りなどが生じている場合には個別なアプローチが必要だが、横浜市として取組方法をアレンジしていくことが大切ではないか。また、過食のことを考えがちだが、学校では欠食児童の問題もある。画一的でなく、個別にアプローチしていくことが大切と思う。

(望月 (選) 委員)

スポーツも噛み合わせがとても大切。学校での食育の場では、食べている子もいるが、食べられていない子も多いことを感じている。なぜ食べなくてはいけないか、ということも伝えることが大切。

(松谷委員)

本業で幼稚園や保育園の弁当 (給食) を作っている。園により内容に大きな差があり、園によっては副菜がついていないことが多い。認定こども園の献立表のチェックも必要だと感じる。4、5月は慣れたものを出して慣らしていくなど、完食してもらえるような工夫をしている。

(飯笹委員)

減塩について。中学校給食は味が薄く口に合わないため、給食を選ばずにお弁当を持ってくる生徒もいる。そうなると、保存のため味が濃くなり、塩分摂取が多くなってしまふ。旨味を上手に使うことで、減塩でもおいしく食べられるので、中学校給食の喫食率も高くなるのではないかと。

(金子委員)

15 ページの「項目 9」について。地場産物に関する直近値、目標値の考え方について確認したい。地場産物を給食に使わずに、教材として使用するのであれば可能だと思う。12 ページ中学校給食の記載。完全給食の実施の前後、食育指導の考え方について、小・中の共通の目標値でよいのか。

(事務局)

「等」には、給食で地場産物を提供する以外の指導も含んで計上している。また、栄養教諭「等」には、学校栄養職員等も含んでいる。令和 8 年度からの完全給食については、中間評価などで状況を見て見直す可能性がある。

(岩本委員)

国の計画を確認すると、学校給食の時間を使った直接の指導、校内放送、教材作成なども含むとされている。一方で「栄養教諭」に「等」はついていない。現状の横浜市の栄養教諭の数に対する学校数を考えると、高い目標と感じる。栄養教諭は地域の八百屋、生産者に協力していただき推進することが大切。いくら教材を作ったり放送していると言っても、実際に食べさせていないとリアルに感じられない。今後、これらは必須の取組になると思うので、ぜひ JA 等に協力していただき取組が増えるような方策をとってもらいたい。

(大久保委員)

学校ではギガスクール構想が進んでいる。デジタルサイネージ、YouTube などの動画は、テキストで伝えるより、伝わる情報量が多い。学校ではデジタル化は有効だと思う。

(岩本委員)

計画期間 12 年というのは長いと感じるが、健康横浜 2 1 と合わせるということか。

(事務局)

一体的に策定するので計画期間を合わせているが、健康増進計画も含めて、中間評価においてしっかり見直し、状況によっては目標値の設定をし直すことが重要だと考えている。国の目標値設定なども見ながら進めていく。

(岩本委員)

新しい指標は、直近値データがないものもあるが、何と比べるのかははっきりしておいたほうがよい。例えば子どもの朝食と大人の朝食だと調査の取り方が違う。今後の評価のために、どの調査の数値なのかを明確にしておく必要がある。

(事務局)

素案 14 ページ以降の目標値は、どの調査の数値か書かれていないが、今後明記したものを資料として添付するなど工夫していきたい。

(2) 第 3 期健康横浜 2 1 (素案) パブリックコメント用リーフレットについて

(事務局)

資料説明 (資料 4-1、4-2)

	<p>(大久保委員)</p> <p>神奈川県は、糖尿病重症化予防の取組はうまくいっている地域というのは存じ上げていますが、発症の予防の方が食育上は重要に思われる。重症化予防にこだわる理由は何か。</p> <p>メンタルヘルスについては重要な課題ではあるが、メンタルヘルスに関する一般の記述全般において理解が不足しているように感じることが多い。素案でも、サポートについては、記述が不十分と感じた。</p> <p>(事務局)</p> <p>糖尿病も予防が重要と考えている。一方で、糖尿病にかかった方の健康についてもサポートする必要があるので、行政としては、重症化予防の視点も持っていく。</p> <p>メンタルヘルスについての取組は模索しているところ。今後、検討していきたい。</p> <p>(大久保委員)</p> <p>精神科医師については医師会と別個に精神科診療所協会が存在するため組織率が低く、医師会が主導している学校医関連事業に協力を得にくいという問題があるが、メンタルに関する相談窓口の確保が重要になっていくと考えている。</p> <p>(長島委員)</p> <p>心療内科について。食べられない子が精神を病むことにつながっていく。糖質しかとれなく、栄養が偏ってしまうことがある。このような場合はどこに相談したらよいのか。すべての市民を対象としていく中で、一番やらなくてはならない課題のひとつだと考えている。</p> <p>(岩本委員)</p> <p>テレビをつけていると、サプリメントの広告があふれている。自分でしっかり食べて運動するという基本的なことが大切。どこかに記載があるとよいと思った。</p> <p>(菅委員)</p> <p>リーフレットの見やすさという点で、中面の「育」「働」「稔」の表記はアイコンやマーク、記号でもよいと思った。</p>
5 報 告	<p>(1) 令和5年度 第1回 食環境整備検討会について</p> <p>(2) モデル事業の進捗状況について</p> <p>(事務局)</p> <p>資料説明(資料5、6)</p> <p>(岩本委員)</p> <p>ハマの元気ごはん弁当の「ハマ」は地場産物の食材を使用するという意味か。</p> <p>(事務局)</p> <p>横浜市の基準なので「ハマ」という文言を使用している。地場産の食材を使用するという意味ではない。</p> <p>(大久保委員)</p> <p>せっかく QR コードを使用するのであれば、どういう食材でどのように作られたなどについて情報提供されるとよいのではないかと。</p>

	<p>(長島委員) そうてつローゼンの購買層は。</p> <p>(事務局) 全体としては女性が多いと聞いているが、立地等の条件によってはターゲット層の利用が多い店舗もある。PRなども行い、効果検証をしていきたい。</p> <p>(長島委員) 購入したときの特典はあるか。特典をつけてより多くのターゲット層に買っていただいて効果測定ができるとよいと思うが、一方で通常の状態でいかにターゲット層の購入につながるかを評価するのも必要だと思う。</p> <p>(事務局) 特典はない。効果検証のために、喫食者アンケートでは、年代や性別などを確認する。</p> <p>今回のお弁当は 714kcal なので、男性だけでなく、ある程度活動量のある女性にも合う栄養価になっている。食品関連企業に対して、必要なエネルギーはしっかり食事からとることが大切で、「健康」と「ボリューム」が両立することを理解していただくことで、今回のお弁当の完成にたどり着いた。</p> <p>(飯笹委員) 内容はずっと同じなのか。</p> <p>(事務局) 1 か月は同じ内容で、売上等の効果検証をする。</p> <p>(金子部会長) QR コードで情報が見られるようになっていて活用できるとよい。今回のお弁当は、高齢者や女性でも主食を減らせば対応でき、汎用性があると思う。</p> <p>(望月 (悟) 委員) ソースはついていないのか。</p> <p>(事務局) そうてつローゼンでは、他のお弁当についてもソースは希望者にのみ別添するため、栄養価には含まれていない。ただ、ソースを付けたとしても塩分 3.5g 未満の基準内にはおさまる。</p> <p>(飯笹委員) 少しでも横浜の食材を使っただけだとよいと思う。</p> <p>(金子部会長) 議論はこれで終了としたい。</p>
そ の 他	今後のスケジュールについて
資 料	<p>資料 1 健康横浜 2 1 推進会議 食育推進検討部会 委員名簿</p> <p>資料 2 食育推進検討部会設置要綱</p> <p>資料 3-1 第 3 期横浜市食育推進計画素案 (案) について</p>

資料 3-2	第3期食育推進計画素案（案）への意見について
資料 4-1	第3期健康横浜21（素案）パブリックコメント用リーフレット （案・5/8時点改訂版）
資料 4-2	第3期健康横浜21【素案】（案）（5/8時点版） （令和5年度 第1回 健康横浜21計画評価及び次期計画策定検 討 部会 資料3-2）
資料 5	令和5年度 第1回 食環境整備検討会について
資料 6	モデル事業の進捗状況について
資料 7	第3期健康横浜21 策定スケジュール（案）